



あさかわ まちづくり ニュース

長野市浅川地区住民自治協議会 まちづくり計画推進委員会
令和2年4月1日 第28号 委員長・山崎智功 編集・北條昭吾

ブランド薬師は『水平材で社殿を支えて傾斜面に建つ特殊な構造』 信大工学部学生ら調査結果の卒論発表会に70人が傍聴

信大工学部建築学科土本研究室の学生らは、6月4日から5回にわたりブランド薬師の古文書や建物の調査を行ってきました。また地質調査を行った工学博士・長野高専非常勤講師塩野敏昭氏、学生と一緒に調査を行った信大工学部建築学科土本俊和教授の3人の調査結果の発表会が3月7日（土）浅川公民館大会議室で行われ70名の傍聴者がつめかけました。

まず信大工学部土本研究室の柳内斉彬さんは、昨年1月に発見された大正5年ブランド薬師改修時の工事設計図・設計書史料と現在の建物を昨年6月から5回の現地調査を踏まえ比較調査を卒業論文として発表しました。



史料図面と実測図面の比較では「小屋断面図では、梁（はり）2本に代わり中心の太い小屋束の下部に長手方向の梁材が追



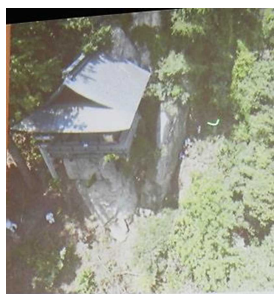
加」「小屋平面図、棟木が岩部分と3本のボルトで接続され支えられている事が史料で確認できた」「小屋部の金具が1本追加」「追加された金具は2本に分かれ、2カ所で梁と接続」などが解明され「昭和の修理では上に引っ張る力が追加された」と細部の研究成果がはっきりした。

また他の懸造（かけづくり）建築との差異として「日本最古の懸造建築遺構の鳥取県三朝町の三仏寺投入堂奥院は崖に合わせた長い足代（柱）により建物を支えているが、八檜神社は片持ち梁と棟木により上から支える力も利用している（水平材にのせている）」と表現している。

八檜神社の懸造建築としての特異性として「傾斜面と言う険しい立地条件に対応して立てられ岩窟に合わせた基礎を持つ」それに「岩穴から突き出した水平材によるテコの原理を利用して社殿を支えている」「浮いているような意匠を持つ」として『懸造建築の中でもより険しい傾斜面に対応した特殊な構造』と結論づけています。

裾花凝灰岩の細工し易い崖の岩窟に建てられた「ブランド薬師」 工学博士・長野高専非常勤講師の塩野敏昭さん指摘

ブランド薬師が乗る岩をドローンで地質調査をおこなった塩野敏昭さんは、長野盆地は700万年前海底火山が噴火を始め、その噴出物が積もって裾花凝灰岩が堆積、長野盆地は大きく変動、菅平は西へ毎年15ミリ移動、西山は白馬方面へ毎年10ミリ移動している、その差のゆがみが長野盆地西縁断層帯として蓄積、1847年の善光寺地震はそのゆがみを解消するための物であった。長野盆地西縁断層帯の西側にある薬山は毎年1ミリくらい隆起、それほど隆起すると岩盤は浸食風雨に伴って急激に崖ができた。



ドローンで撮影した
ブランド薬師



薬山の岩盤は海底火山噴出物の裾花凝灰岩で固そうに見えても柔らかく細工し易い岩盤、岩に穴を開け易い。大きな梁（はり）を差し込む事が出来ると卒論の話聞いて八檜神社はテコの原理で吊り下げられていると知り驚いたと地質調査の報告をしました。

「文化財として価値を高め、県の文化財になるようにしたい」 「将来を考える時期に来ている」 信大土本教授が保存の大切さを指摘



最後に土本教授は今回の調査で「ブランド薬師が横にはみ出すような構造の特徴が調査でよく分かってきた」「山岳建築は綺麗に見える、遠くから建物が透けて見えるなどヨーロッパの山岳建築を例に挙げながら文化財としての価値を高めて、長野県の文化財になるようにしたい」「昭和 36 年の改修から 60 年経った、保存計画もしっかり



立てる事が大切」「願うところは先人の努力を受け止めて、ブランド薬師を伝えていきたい」と保存への取組みの大切さを指摘しました。

浅川ダム鯉のぼりは 4 月 25 日（土）に設置、農林産物直売も決まる 浅川ダム利活用懇談会で浅川ダム展望広場等利活用を議論

浅川ダム・浅川ダム展望台広場等の利活用について、県浅川改良事務所・市浅川支所・浅川地区住自協の 3 者が話し合う「第 14 回 浅川ダム利活用懇談会」が 3 月 4 日（水）開かれ、関係者 12 人が出席して、鯉のぼりの設置、ダム見学会などが話しあわれました。

浅川ダム天端への鯉のぼり設置については、4 月 25 日（土）朝 9 時から設置作業を行う。



予備日は 4 月 26 日（日）とする。

昨年までの鯉のぼり設置作業で改善する点など出され、準備道具の点検・用意を含め、次回「浅川ダム利活用懇談会」を 4 月 15 日（水）に開催することになりました。

浅川住自協からは「浅川ダム展望台広場愛護会事業計画」が示され、愛護会（令和 1 年度、令和 2 年度の浅川地区区長）により 4 月 11 日（土）から毎月「ダム展望広場環境整備」で草刈り等行う。5 月 9 日（土）を第 1 回の農林産物直売所を 11 月まで毎月・計 7 回、朝 8 時から昼頃まで開催する。

県からは「ダム祭り」を「農林産物直売日」の 7 月 23 日（祝・木）に同日開催との提案がありました。新型コロナウイルスとの関係を見ながら決定したいと当面のアウトラインを決めました。

ブランド八榎神社総会で住自協・保存会が参道整備等で協力要請

北郷 5 地区の氏子さんで構成する「ブランド八榎神社」は 3 月 14 日（土）に役員 18 名が参加して総会が開かれ来年度の事業計画・役員を決定しました。

この総会には浅川住自協からブランド薬師保存会宮澤重徳会長、原田孝成活性化推進員、北條昭吾同活性化推進委員会広報担当が出席、浅川住自協まちづくりは令和元年度で 4 年が終わり、ブランド薬師の参道整備、十三仏看板設置、松くい虫の松伐採など住自協まちづくり事業に対し役員の方々の協力に御礼を申し上げます。

今年度以降の事業として、県宝指定に向け、参道入り口の総合看板設置、裏参道入り口の看板設置・防草シート・チップ敷き、宙に浮いてる本殿に見えるようにする為の木を切るなどの事業に補助金を含め 70 万円余の事業を行いたいと理解を求めました。また県宝指定に向け保存会の体制をつくる為、平地の理事のほかにも 5 地区内からも理事の選出を要望しました。

令和 2 年度「ブランド八榎神社」の役員は、責任総代に丸山義雄氏（門沢）、当番総代に松木基浩氏（北郷）、当番総代（会計）に松木武教氏が選出されました。